

津々浦々

(59)

津久見市長 吉本章司

今年一年を振り返って

今年も師走を迎え、残り一ヶ月となりました。年齢を重ねるごとに一年が過ぎるのが早く感じられると言われますが、本当にそう感じます。皆さんの生活の中でも様々な出来事があったのではないでしうか。

今年、特に生活面で重くのしかかっていたのが消費税の増税です。本年4月に5%から8%にアップしました。3%から5%になって以来、アップは17年ぶりの事です。このアップをした分は社会保障費に充てると言われていますが、まだそれが実施されてないうちにアベノミクスの方策として国は借金を重ね、緊急的な経済対策をとりました。いかにも、そのために消費税を上げたように見えますし、日銀の金融緩和により株価は上昇したものの

の円安となり、生活に密着した海外依存度の高い食料品やガソリンの単価が上がって、一層国民の財布のヒモはきつくなりました。

3%のアップは、私自身思っていた以上に厳しさを感じています。消費税5%の頃の内税方式撤廃に慣れてきていた中、今回のアップを機に外税表示でもよくなり、100円の表示に100円を出す、8円不足したりして、ますます増税の重みを感じられます。

4～6月の日銀の短観（企業短期経済観測調査）は消費税アップの影響で前期よりもマイナスになることは予想通りでした。しかし次の7～9月もマイナスとなり、平成27年10月に10%にアップする予定を平成29年4月実施に先延ばしにして衆議院を解散しました。12月の衆院選がどのような結果となり、市民生活にどう影響してく

るのか、動向を注目していきたいと思っています。

津久見市の平成26年は……

昨年10月に陥落事故があり、通行止めとなった下浦トンネルは今年の7月にやっと通行できるようになりました。公共施設や公共構造物の耐震化や長寿命化が注目されてきた矢先の事故でした。同じ工法等で建設されたトンネルの問題点や復旧工事を検証するために復旧が遅れて関係者や地区住民の方々に大変なご迷惑をおかけしました。まだまだ綿密な調査をし、耐震化、長寿命化工事をしていかなければならない公共構造物はたくさんありますので、できるだけ早く手を付けていかなければなりません。今までの造る一方のインフラ整備に、保守・点検といった要素が加わってきました。

もちろん明るい話題もありました。まずは、4月の檜の実少年少女合唱団の東京公演の成功です。在京津久見人会や津久見と関係のある

企業の協力により、満員の観客に大きな感動を与えることができ、全国的にも充分素晴らしい評価をいただけたことを証明しました。

また、8月に中国で行われた南京ユース五輪の競泳男子200m平泳ぎで、日本競泳陣初の金メダルを獲得したのが渡辺一平くん（17）です。小学校の頃から全国大会に出場する等、各大会での優勝報告等で何度も市長室に来ています。今は佐伯鶴城高校の水泳部で活躍していますが、まだまだ伸びしろがあると思います。競泳の中でも平泳ぎは北島康介に始まり、多くの選手が競合しています。プレッシャーに負けることなく、2020年の東京オリンピックでは金メダルを期待しています。

来年はひつじ年で干支のイメージは穏やかそうですが、統一地方選があり、年末には市長選もあり、私の三期目の仕上げの年となります。三期目の仕上げをしっかりと努めたいと思います。